

# エクセルグラフの種類

エクセルのグラフの種類としては主に下記の 6 つが存在します。

## 折れ線グラフ

折れ線グラフは、データの数値を点と点で結んだグラフのことです。数値がどう変化していくかを視覚的に確認できるため、データの推移を見たい時に使われます。

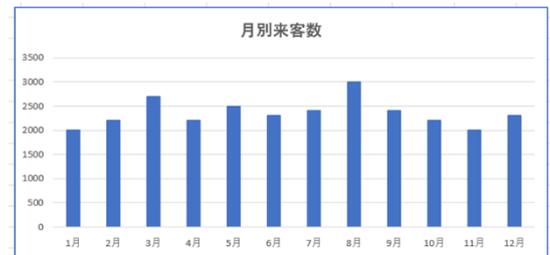
たとえば、「企業の売上高の推移」の分析の際に役立ちます。



## 棒グラフ

棒グラフは縦横に棒が並んでいるグラフです。

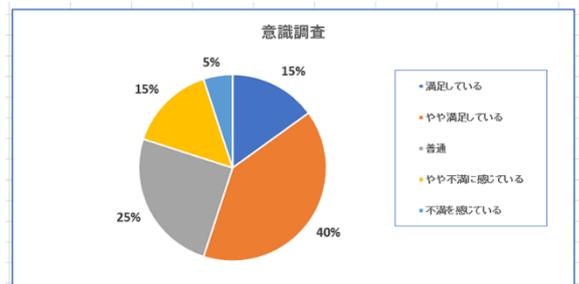
「月ごとのお客さんの人数」のように、複数のデータの数量を比較する時に役立ちます。



## 円グラフ

円グラフは、それぞれの構成比を円状で表すもので、「割合」を確認したい場合に最適です。

「意識調査」「年代別・男女別構成比」などの資料を作成する際に役立ちます。



## 複合グラフ

複合グラフは、違う種類のグラフを複数組み合わせたグラフです。なかでも縦棒グラフと折れ線グラフを複合したグラフが使われることが多いでしょう。

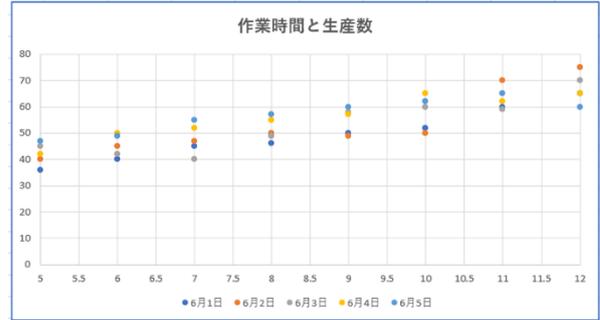
関連性があり単位の異なる 2 つのデータを見ることに向いているので「売上高(円)と成長率(%)の推移」「売上(円)と売上個数(個)の推移」などの比較データを作成する際に便利です。



## 散布図

縦軸と横軸に並べた2つの値がどのような分布になっているかを表すグラフです。

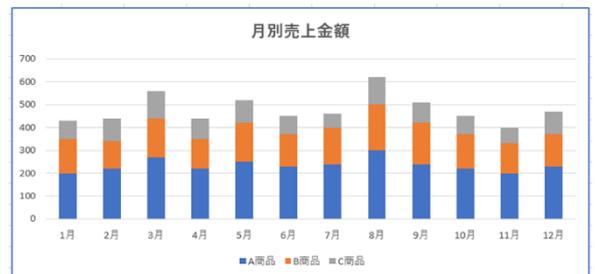
関連性のありそうな2つの値の相関を見るのに向いているので、「生産量と作業時間の比例」などのデータ作成に最適です。



## 積み上げグラフ

積み上げグラフは、1本の棒に複数の要素のデータを積み上げ表示するグラフです。1本の棒の中を各要素ごとに色分けして表示できるため、合計とそれぞれの要素の比率を容易にチェックできます。

「月ごとの種類別売上金額」などのデータを作成する際に便利です。



## バブルチャート

バブルチャートは、縦軸・横軸にあわせて第3の軸を円の大きさで表現するグラフです。グラフに円が泡のように点在することからバブルチャートと呼ばれます。

下図では、1ヶ月の雨天の日数・駅からの距離・売上の関係をバブルチャートで表したものです。このように、比較する軸が3つある場合にバブルチャートが役に立ちます。

